

2024年3月期 第1四半期
決算説明資料



株式会社ファブリカコミュニケーションズ

証券コード：4193

会社名	株式会社ファブリカコミュニケーションズ Fabrica Communications Co., LTD.
本社所在地	愛知県名古屋市中区錦3-5-30 三晃錦ビル8F
代表者	谷口 政人
設立	1994年11月
従業員数	196名 (2023年6月末時点、連結、就業人員)
連結子会社	株式会社メディア4u Sparkle AI株式会社
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務支援システム開発・販売事業 ・ SMS配信ソリューション事業 ・ インターネットメディア事業 ・ WEBマーケティング事業 ・ 自動車整備・レンタカー事業

経営理念

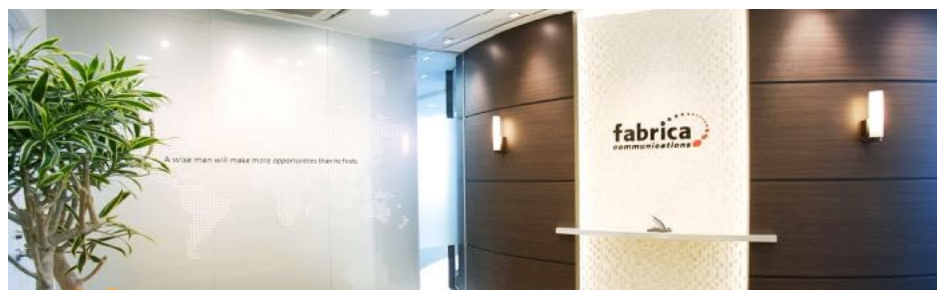
変化を好機と捉え、
新たな価値を創造し、社会に貢献する

ミッション

テクノロジーで社会の課題を解決する

私たちが目指しているのは、世の中にある様々な問題や課題を新しい発想と最新のテクノロジーで解決し、人々の暮らしがより安全に、より豊かになり、未来への希望に満ちた社会を実現することです。

その実現のために、顕在化した社会のニーズはもちろん、これから起こるであろう未来の姿を思い描き、そこで必要となるサービスや課題にフォーカスし、今までにない斬新なサービスをいち早く提供していきます。



01. 【連結】 2024年3月期 第1四半期実績
02. 【連結】 セグメント別実績・KPI推移
03. 全社の取組み

【連結】 2024年3月期 第1四半期実績

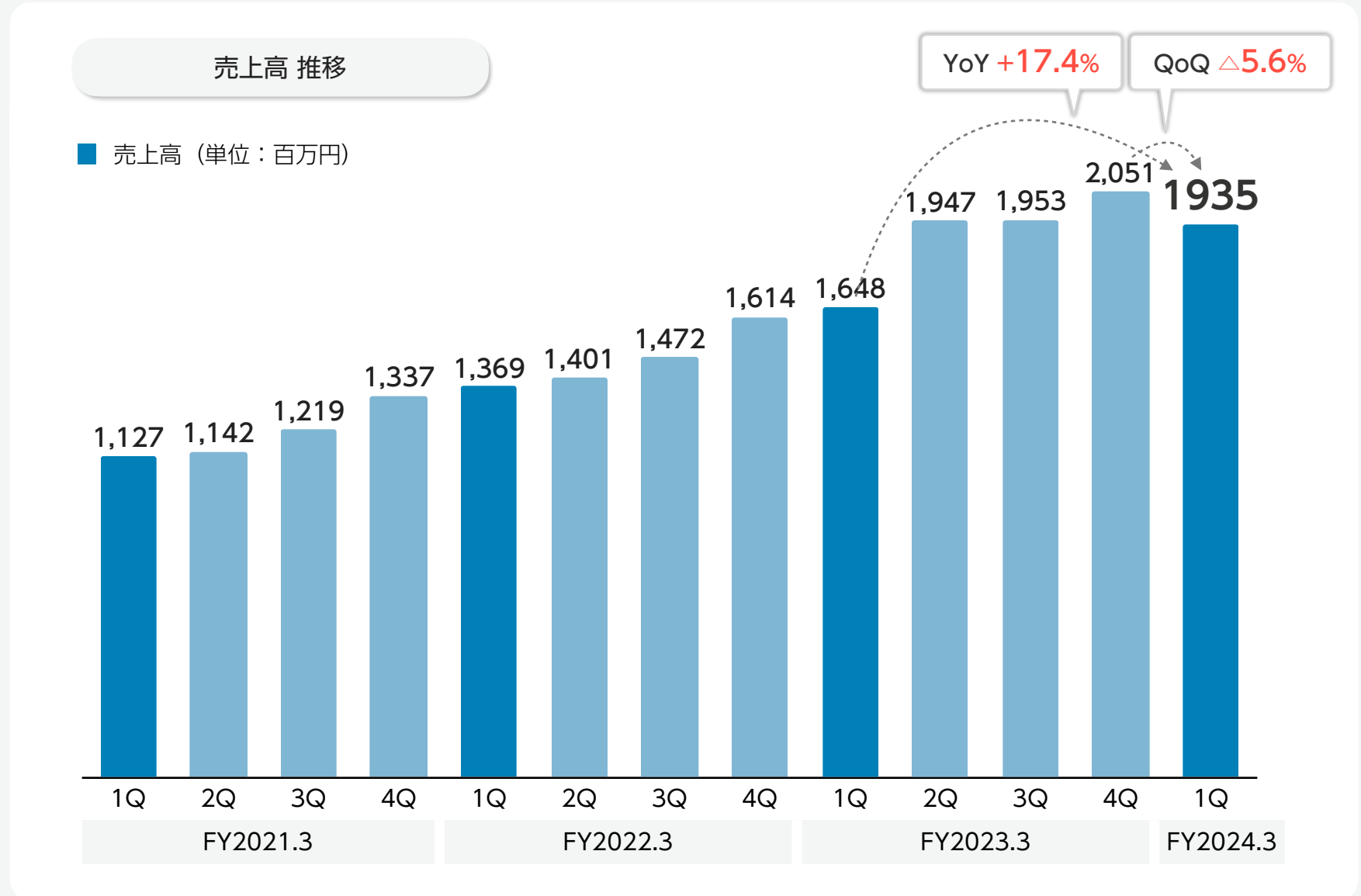
売上高・営業利益・経常利益ともに前年同期を上回って想定通りの着地

積極的な人員増加・新規事業・研究開発投資により販管費が増加するも、前年同期比で成長を維持

(単位：百万円)	FY2023.3		FY2024.3		
	1Q実績	実績進捗率	1Q実績	前年同期比	計画進捗率
売上高	1,648	21.7%	1,935	+ 17.4 %	21.6%
販売費及び一般管理費	609	—	717	+ 17.6 %	—
営業利益	258	20.2%	260	+ 0.7 %	18.4%
経常利益	263	20.9%	265	+ 0.6 %	18.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	165	20.4%	164	△ 0.6 %	18.4%

連結売上高は
YoY+17.4%の増収

QoQは繁忙期からの
反動減で△5.6%で着地

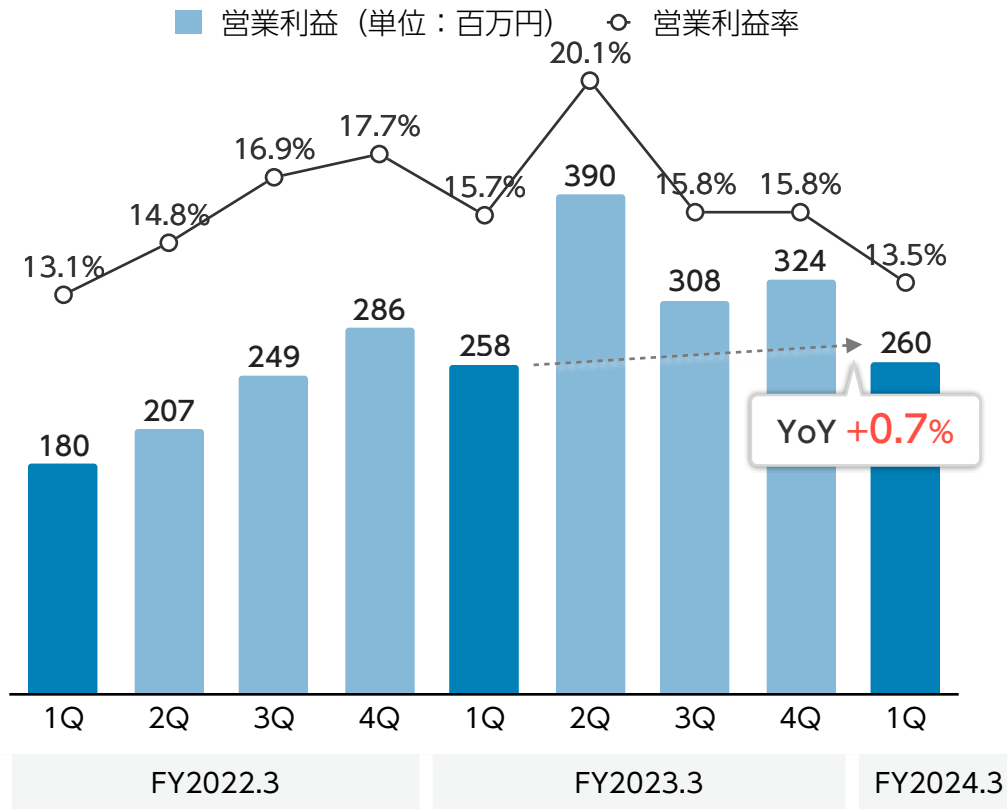


FY2021.3 1Q、2Qの数値は金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査を受けておりません。

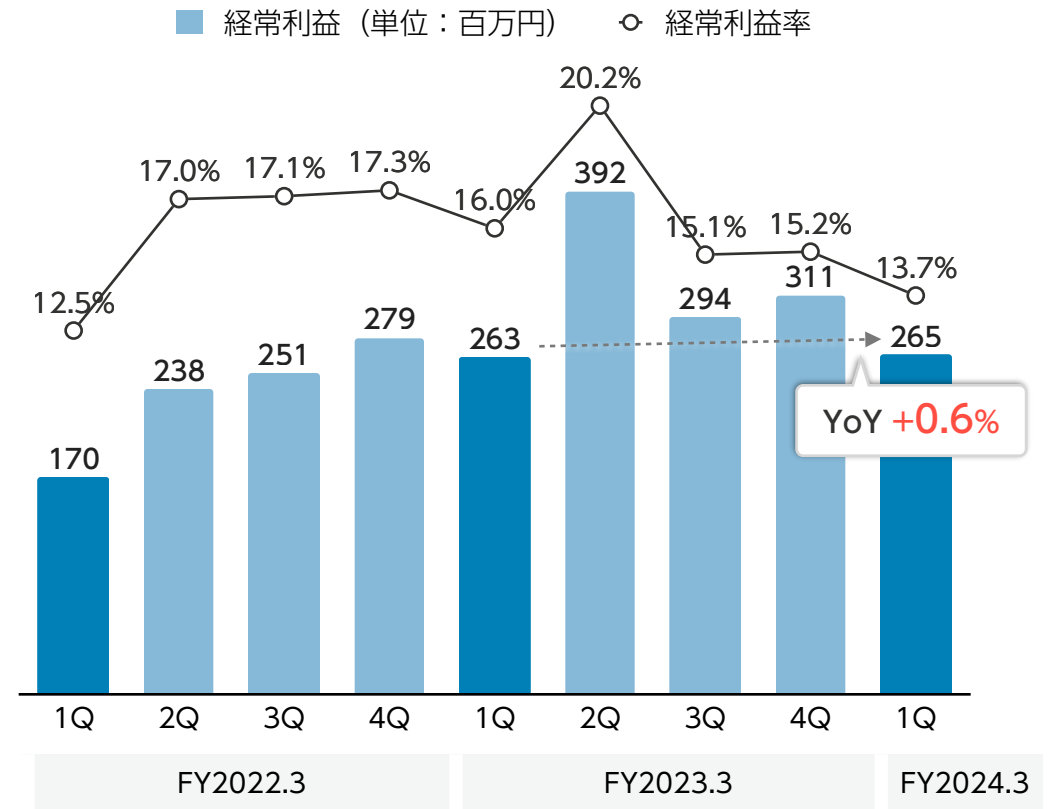
1Q営業利益YoY+0.7%、経常利益はYoY+0.6%で着地

新卒採用をはじめとした積極的な人員増加、新規事業/研究開発投資により利益率は低下するも概ね想定内で着地

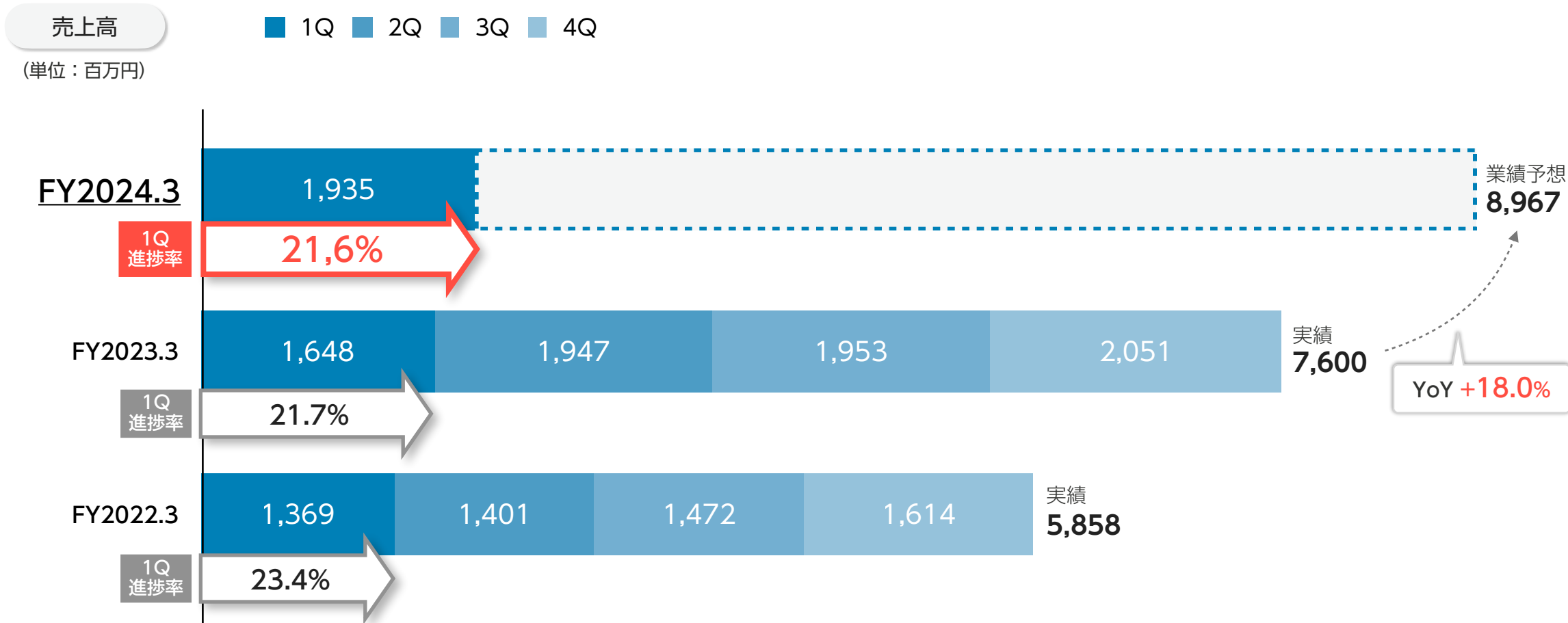
営業利益 推移



経常利益 推移



業績予想に対する売上高の1Q進捗率は21.6%で前年同様の進捗

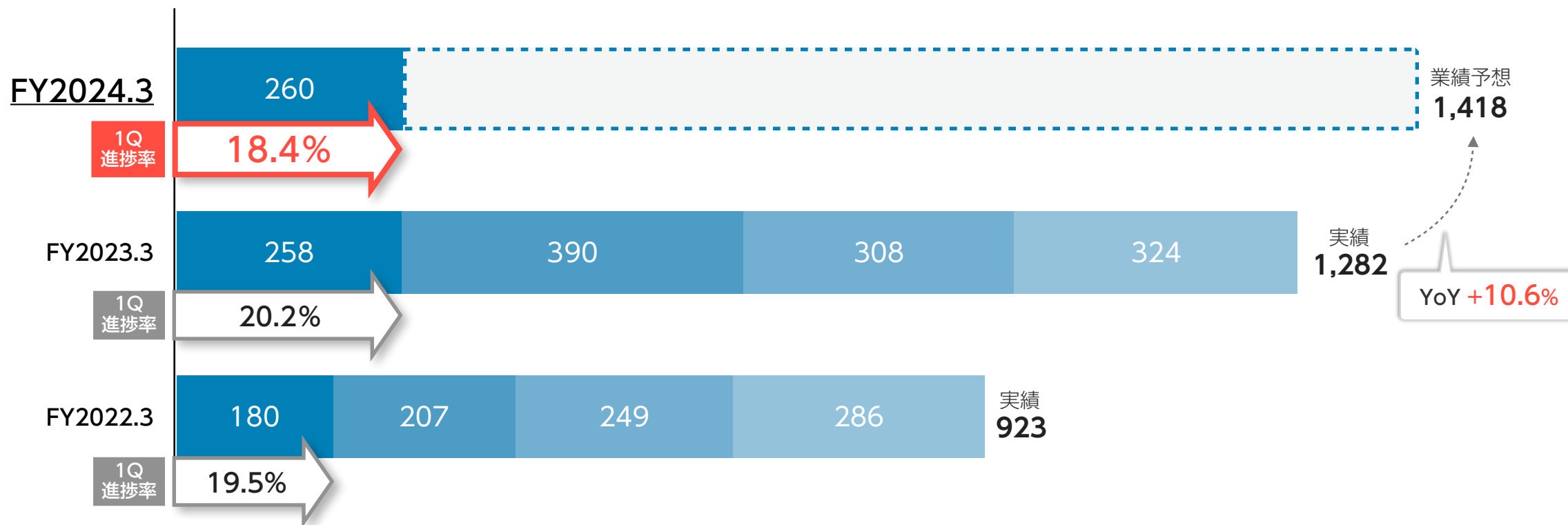


業績予想に対する営業利益の1Q進捗率は18.4%で概ね想定内の進捗

営業利益

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

(単位：百万円)

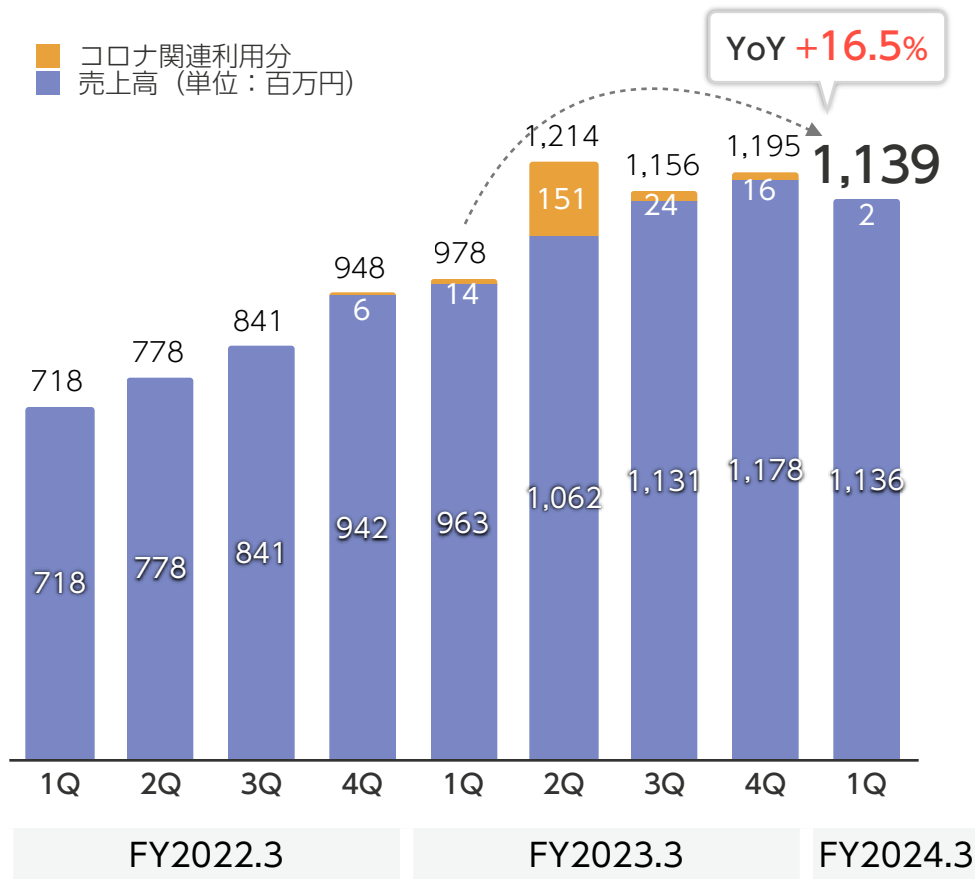


【連結】セグメント別実績・KPI推移

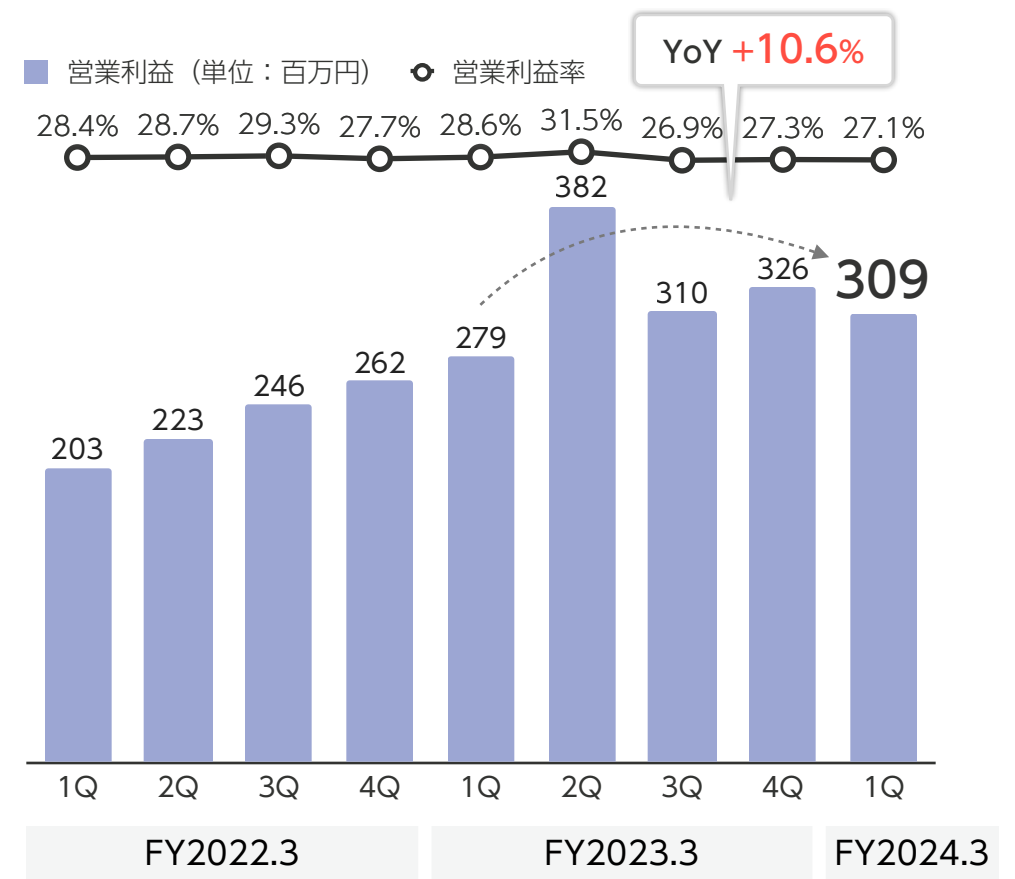
	FY2023.3	FY2024.3			
	1Q	1Q	前年同期比	通期業績予想	進捗率
(単位：百万円)					
売上高	1,648	1,935	+ 17.4 %	8,967	21.6%
SMSソリューショングループ	978	1,139	+ 16.5 %	5,627	20.3%
U-CARソリューショングループ	304	334	+ 9.9 %	1,396	24.0%
インターネットサービスグループ	59	68	+ 14.4 %	333	20.4%
オートサービスグループ	306	392	+ 28.2 %	1,610	24.4%
セグメント利益または損失（△）	258	260	+ 0.7 %	1,418	18.4%
SMSソリューショングループ	279	309	+ 10.6 %		
U-CARソリューショングループ	89	87	△ 2.7 %		
インターネットサービスグループ	△ 4	△ 12	-		
オートサービスグループ	12	19	+ 48.0 %		
調整額	△ 118	△ 141	-		

1Q売上高は1,139百万円でYoY+16.5%、営業利益は309百万円でYoY+10.6%で着地

セグメント売上高 推移



セグメント営業利益・営業利益率 推移

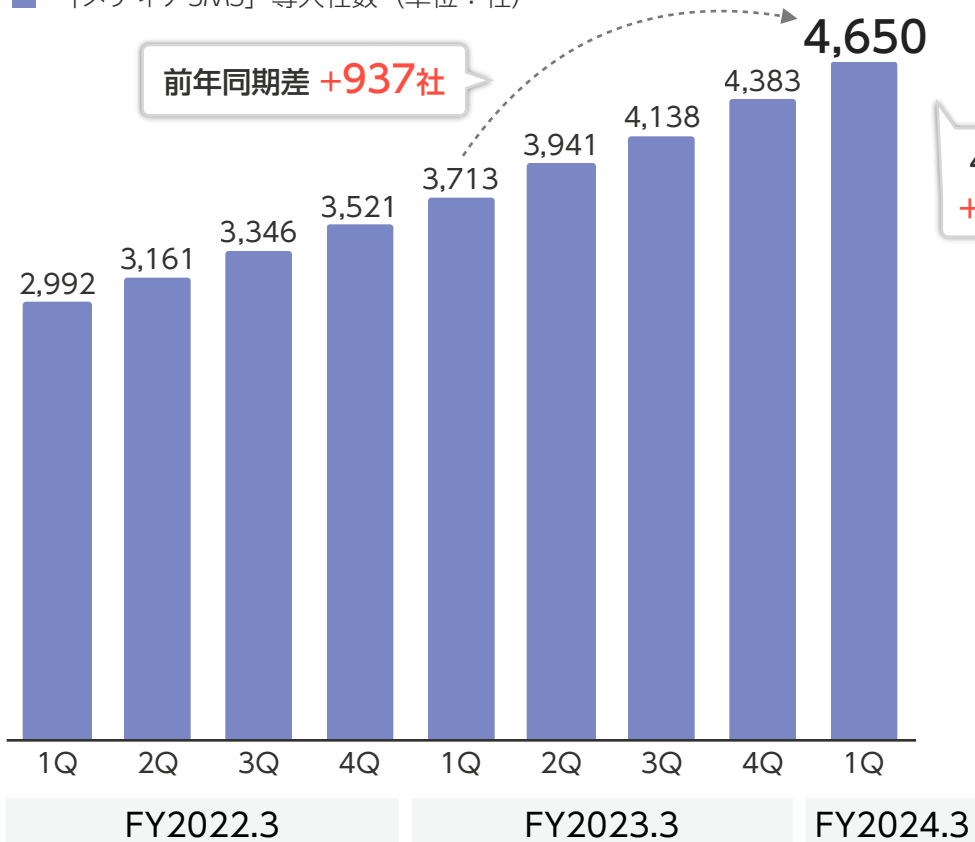


「メディアSMS」導入社数は前四半期から267社増加

新規顧客獲得は過去最高ペースで推移、売上高の増加に伴った規律ある広告投資を継続

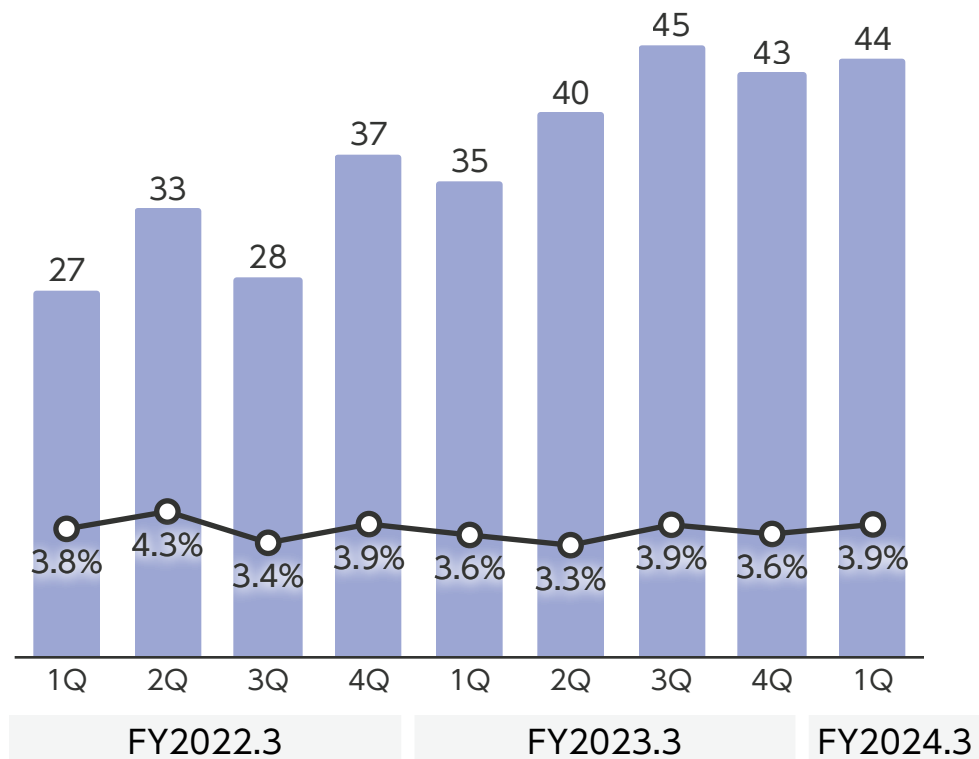
「メディアSMS」導入社数 推移

■ 「メディアSMS」導入社数（単位：社）



広告宣伝費・売上高広告宣伝費比率 推移* 連結仕分前

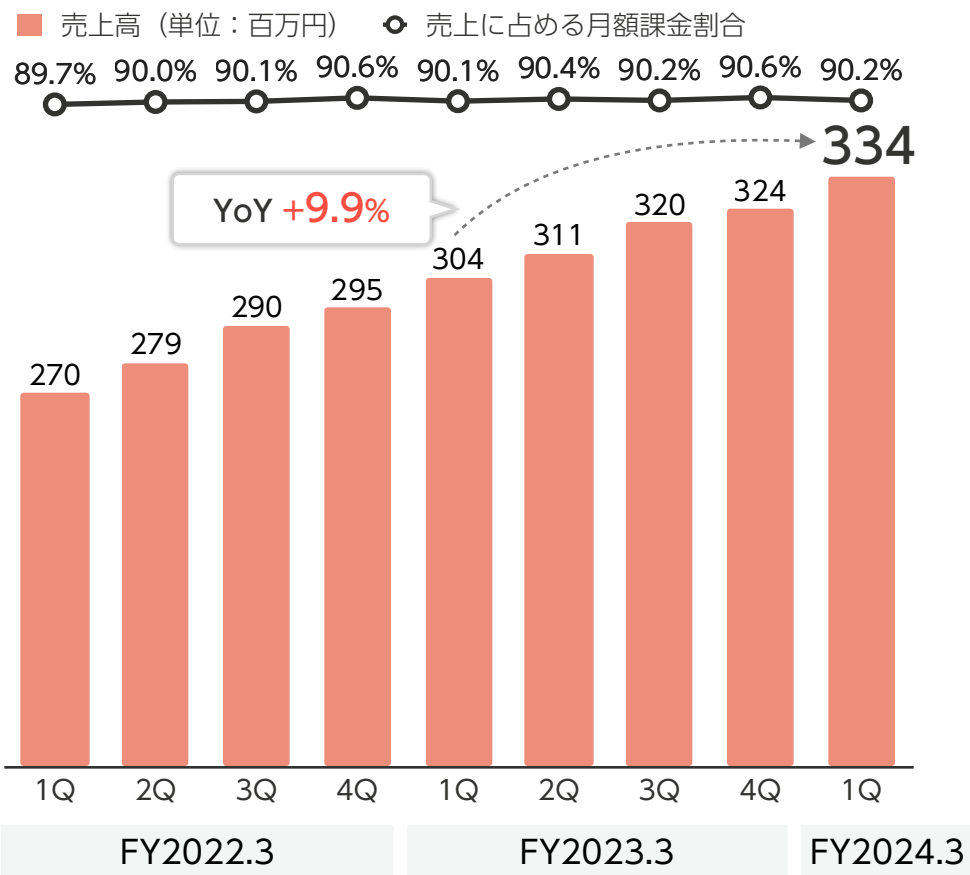
■ SMSソリューショングループ 広告宣伝費（単位：百万円）
○ 売上高広告宣伝費比率



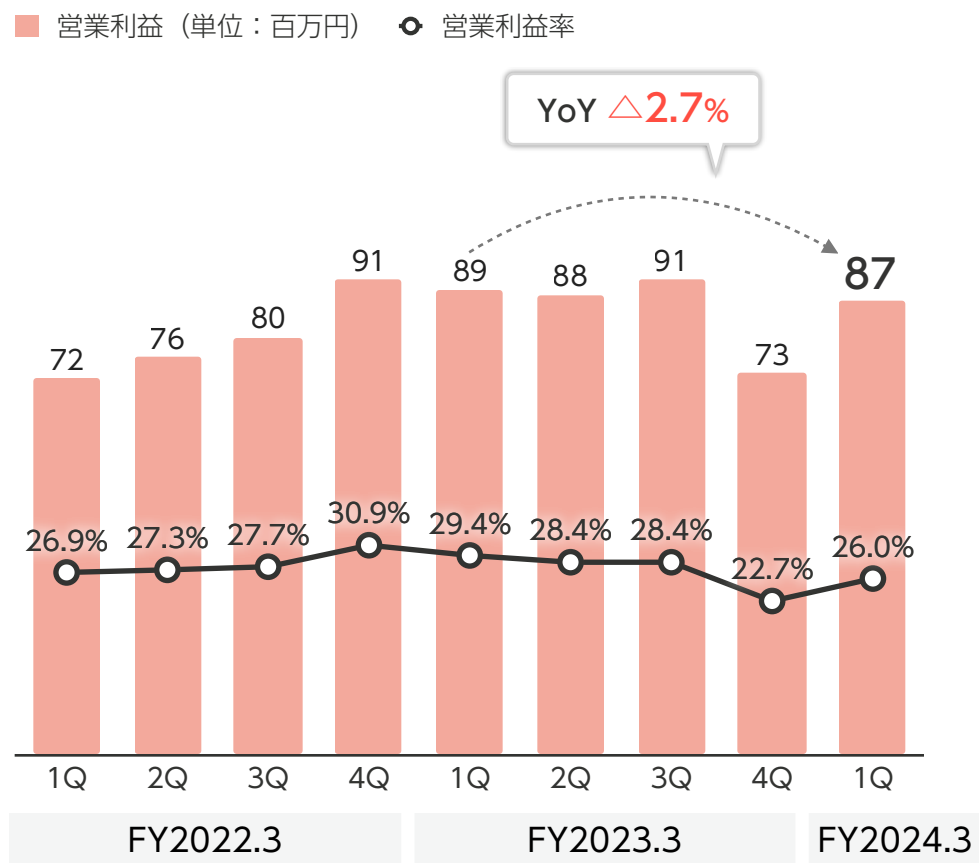
1Q売上高は334百万円、四半期で過去最高を更新

新卒採用をはじめとした積極的な人材投資により一時的に販管費が先行するも、想定通りに進捗

セグメント売上高 推移



セグメント営業利益・営業利益率 推移

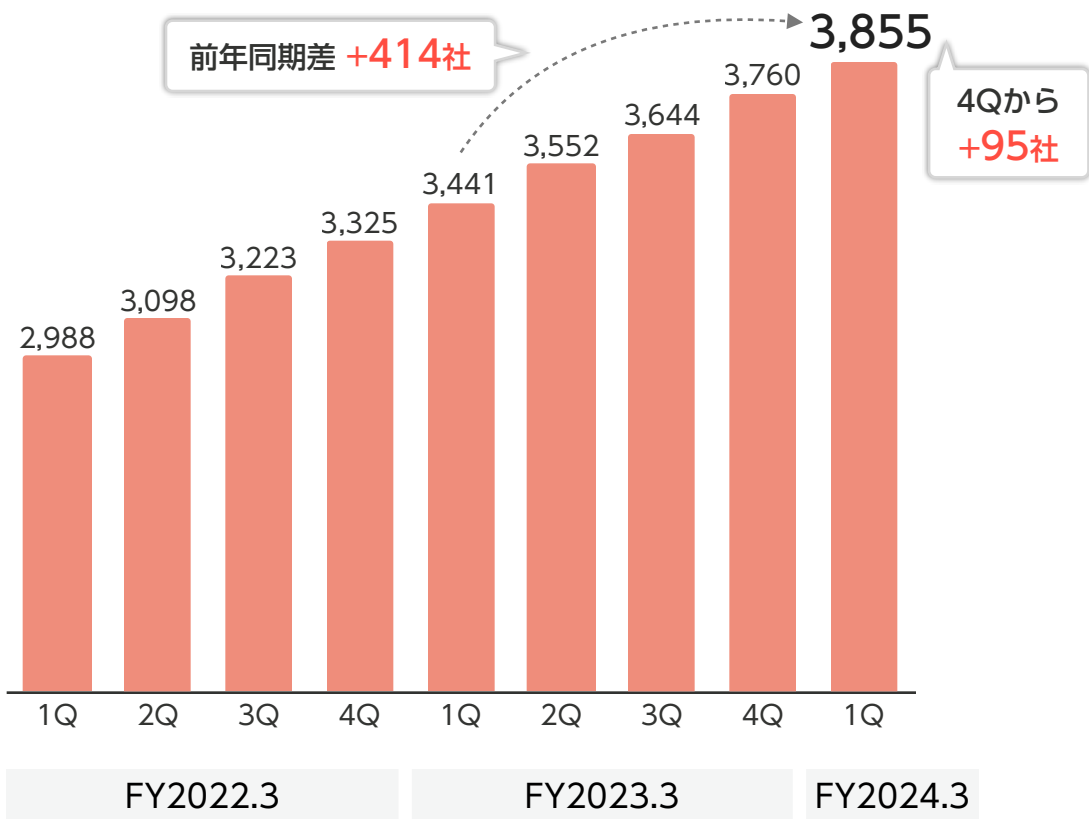


「symphony」 導入社数は前四半期から95社増加し、3,855社

中古車マーケットの環境は引き続き低調ながらも、堅調な純増数を確保。引き続き機能改善と加盟店支援に注力していく

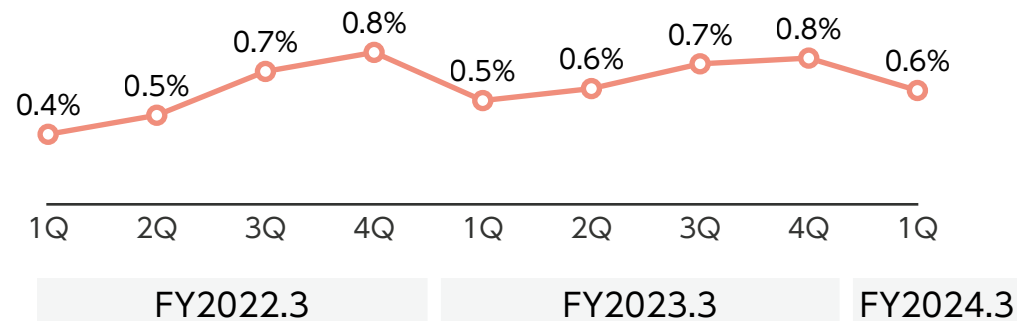
「symphony」 導入社数 推移

■ 「symphony」 導入社数 (単位: 社)



レベニューチャーンレート*

○ レベニューチャーンレート



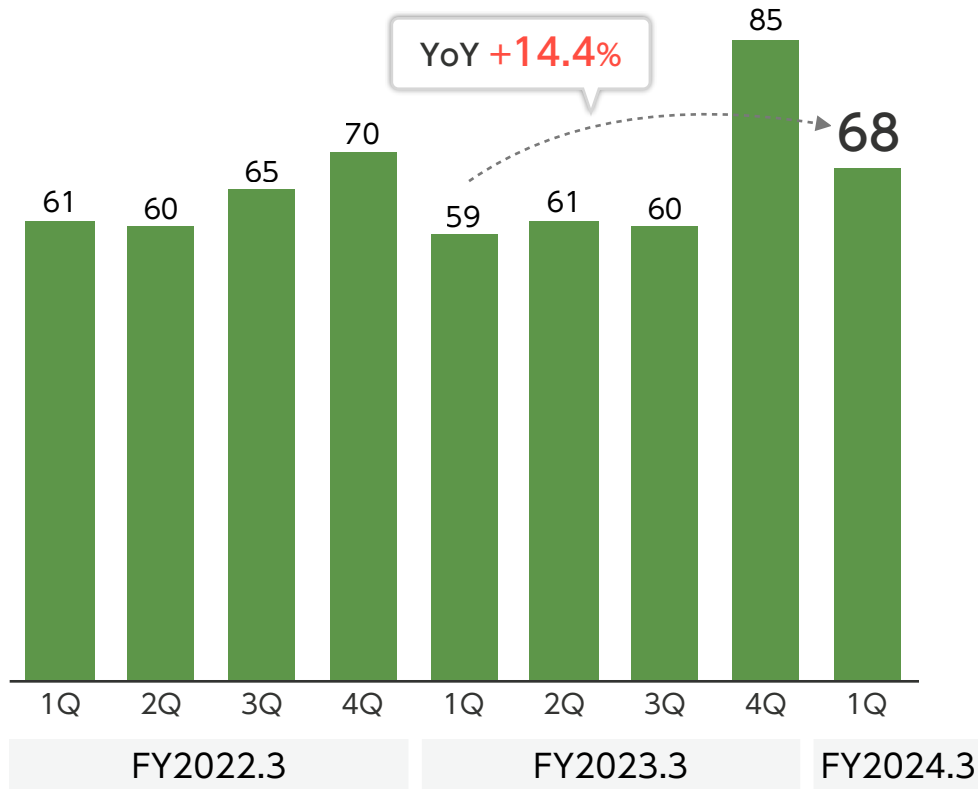
* 算出方法: 当月の解約月額利用料 / 先月末時点での月額利用料総額

1Q売上高は68百万円でYoY+14.4%

アクションリンク事業への積極的な投資により営業利益は△12百万円で着地

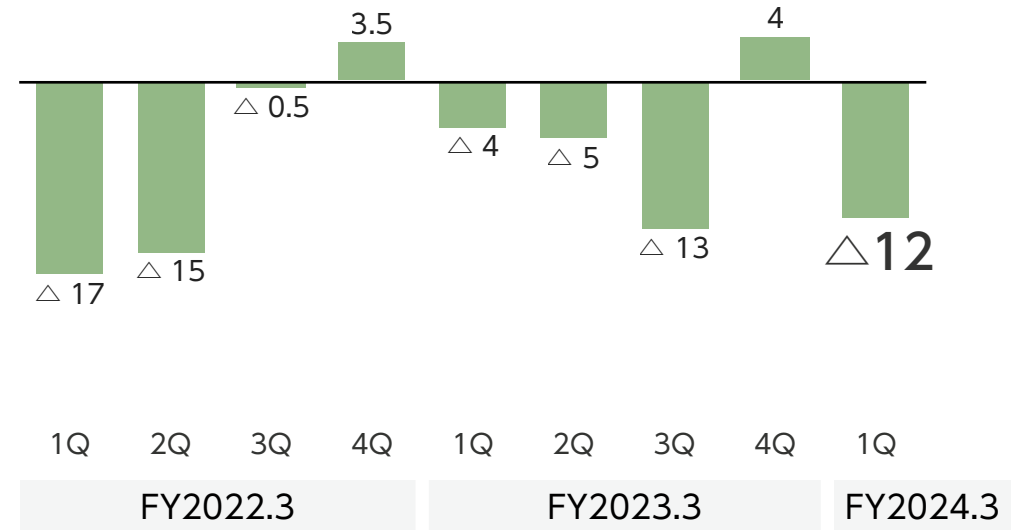
セグメント売上高 推移

■ 売上高（単位：百万円）



セグメント営業利益・営業利益率 推移

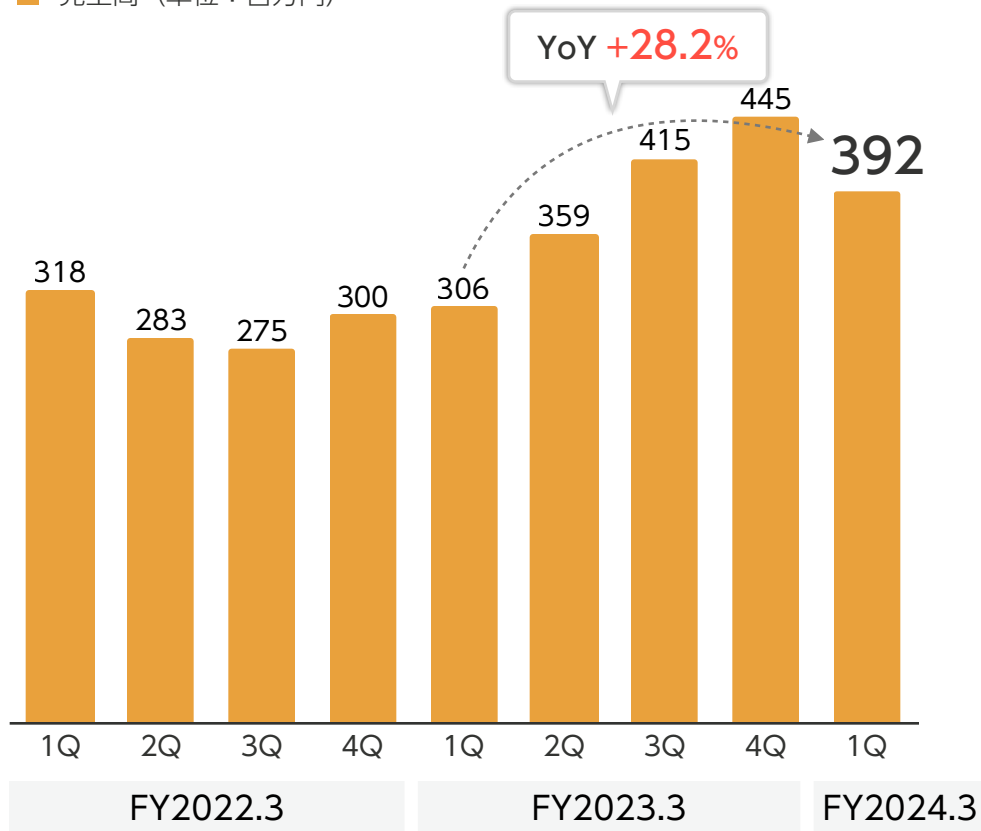
■ 営業利益（単位：百万円）



1Q売上高は392百万円でYoY+28.2%、営業利益は19百万円でYoY+48%で着地

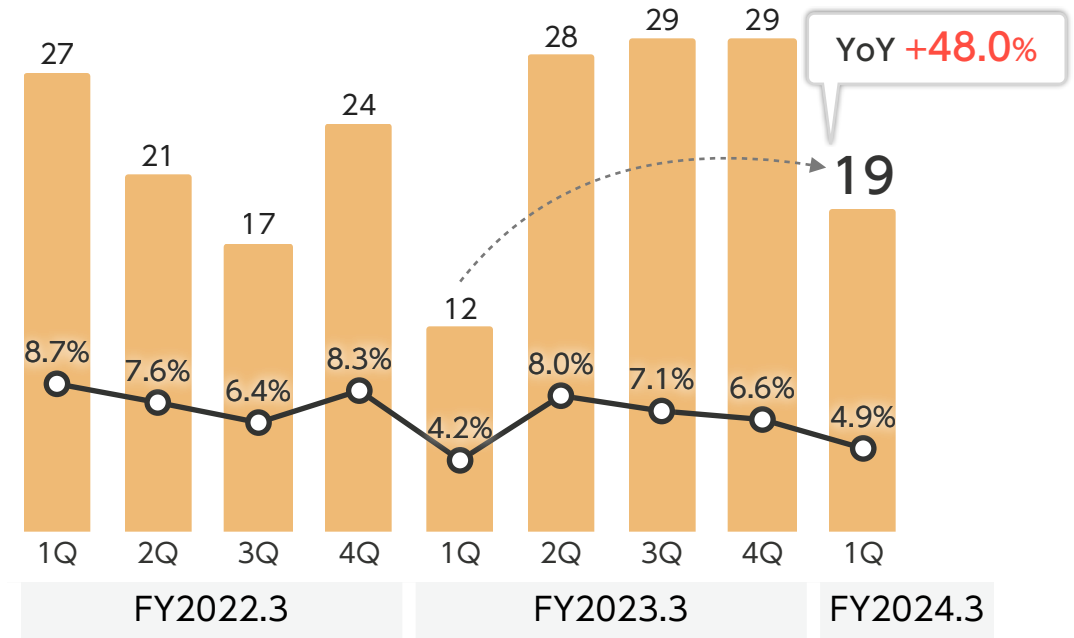
セグメント売上高 推移

■ 売上高（単位：百万円）



セグメント営業利益・営業利益率 推移

■ 営業利益（単位：百万円） ● 営業利益率



修理状況の透明性を高め、お客様に安心して車両を預けていただける環境・サービスを提供

オンラインで修理進捗状況を顧客と共有



修理車両を自社開発の自動車修理マネジメントシステムで管理し、修理の進捗情報をオンラインでいつでも確認ができる「ファブリカ修理作業状況案内」を2008年から提供

修理状況や修理前の車両を写真で顧客と共有



修理車両の状況や修理前の車両の写真をオンラインで顧客と共有。修理状況の透明性を高め、修理期間中も安心して車両を預けられる環境を整備

「永久品質保証証明書」の発行



修理箇所について永久保証する「永久品質保証証明書」を発行。修理中はもちろん修理後においてもお客様に安心快適なカーライフをお送りいただくために高品質な自動車修理を提供

03 全社の取組み

2023/06/01

子会社を設立し人工知能・ブロックチェーン等の先進技術の研究開発を本格始動

当社の自社保有データとLLMの技術を掛け合わせ、当社のサービス提供価値の向上を図るとともに、新たな価値を生み出すことを目指す



代表取締役 渡辺 友太
Watanabe Yuta

■ 会社概要

- (1) 名称 Sparkle AI（スパークルエーアイ）株式会社
- (2) 所在地 東京都中央区築地2-12-10 ビルネット築地ビル4F
- (3) 代表者 代表取締役 渡辺 友太
- (4) 事業内容 人工知能(AI)、ブロックチェーンの研究・ソリューション開発
- (5) 資本金 1億円
- (6) 設立年月日 2023年6月1日
- (7) 出資比率 当社100%

- 2012 日本マイクロソフト株式会社入社。デベロッパー&プラットフォーム統括本部 テクニカルエバンジェリストとして開発者向けのマーケティング活動に従事。
- 株式会社インタレストマーケティング入社。
- 2015 ベトナム現地法人の立ち上げを行った他、執行役員として受託開発事業を統括。同年経営統合に伴い株式会社ネットマイルに転籍。技術開発本部長を経て取締役CTOに就任。技術部門およびマーケティング部門を統括。
- 2018 株式会社ネットマイル退任。当社技術顧問就任。ピットアウト株式会社（現アウトリーチソリューションズ株式会社）創業、代表取締役に就任。
- 2019 キビタス株式会社（現株式会社ユアサポ）設立、取締役CTO就任。
- キビタス株式会社（現株式会社ユアサポ）退職
- 2023 株式会社ファブリカコミュニケーションズ 取締役CTO 兼 プロダクト開発本部長就任
Sparkle AI株式会社 代表取締役就任

2023/08/07

Sparkle AI、ブロックチェーン技術を活用した 日本初※1の抽選プラットフォーム「Rattle（ラトル）」を事業化



- ブロックチェーン上で抽選会を開催できるDApps（分散型アプリケーション）
- 『不正を排除することで抽選キャンペーンのエンゲージメントを高め、多くの人に
使ってもらうことでWeb3※2の普及に貢献したい』という思いから、ファウンダーで
ある大西氏が個人開発を行い、2022年末にベータ版をローンチ
- 大西氏がSparkle AIの取締役役に就任したことに伴い、Sparkle AIにて事業承継予定
- 法人化により開発・マーケティングの基盤を強化していくとともに、Web3の普及を
通じてよりオープンで公平な社会の実現を目指す

※1 「日本初」・・・オンチェーン抽選における抽選プラットフォームとして（自社調べ）

※2 「Web3」・・・特定の管理者がいない、ブロックチェーン技術によって実現した分散型インターネットのこと



「Rattle」を用いた抽選例↑



ブロックチェーン上で抽選会を開催できるDApps（分散型アプリケーション）



アジア最大級Web3カンファレンス「WebX」の抽選会に正式採用

「WebX」を企画・運営する「CoinPost」との共同開催により「WebXスタンプラリー」を実施し、300名以上の参加者を動員しました。本イベントでの景品抽選には「Rattle」が採用されました

WebXとは

2023年7月25日/26日 東京国際フォーラムにて開催
世界各国からWeb2・Web3の有望プロジェクトや企業、起業家、投資家、開発者等を集めたアジア最大級のWeb3カンファレンス。



◀ 「WebX」当日のスタンプラリーの様子



本資料の取り扱いについて

本資料は、当社グループの業界動向及び事業内容について、現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業等に関する情報は、公開情報等から引用または作成したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っており、何らの責任を負いません。

本資料発表以降、新しい情報や将来の出来事等があった場合において、当社グループは本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。